

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-23 □支援部門		緑地維持管理事業				
主管課	公園課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	緑地を適正に管理することにより、緑豊かな都市づくりを目指す。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	37,659	43,164	38,153			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	37,659	43,164	38,153			
	人員配置数	2.0	1.5	1.5			
	人件費(千円)	15,890	13,042	12,774			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	53,549	56,206	50,927			
	市民1人当りの経費(円)	302	317	287			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
緑地維持管理事業	37,659千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	市所有の緑地を適正に維持管理する。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	緑地に隣接する住宅等の日常生活に影響を及ぼすような危険木の枝払いや伐採等にかかわる業務が多く、より適正な形で樹林を維持する管理が困難となっている。	
課題解決のための取組	緑地管理に対する要望は多種多様であるため、要望の都度、現地を確認のうえ、緊急性等を考慮して判断するなど、臨機応変に対応することを心がけた。	取組の結果 ■解決(一部) ■未解決(一部)
未解決の課題	広葉樹林、針葉樹林、竹林など林層に応じた維持管理ができない。	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		緑地の機能を充実できるような維持管理の工夫に努める。	課長等名
		③有効性 ○		↓	
		④公平性 ○		A	公園課担当課長 館下 優三

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
緑地維持管理事業	1151	管理施設維持修繕料	4,000	3,998	○	○	○	○
	1151	緑地維持管理委託料	24,189	28,063	△	○	△	△
	1151	緑地維持管理工事請負費	4,000	3,234	○	○	○	○
	1151	緑地に関する損害賠償金	5	1,568	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							